

顔の痛み、顔の歪みについて

脳神経減圧術研究所長
近藤明恵医師

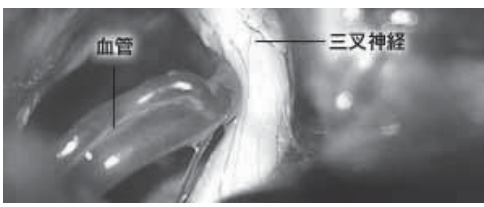
顔面に分布する三叉神経と顔面神経。三叉神経が血管や腫瘍で圧迫されると顔面に激しい痛みが起ります。「痛みの原因を歯痛と間違っただけで歯科や耳鼻科に行かれる方が多くおられますが、そこでは治りません。また顔面神経が圧迫されると顔が歪みますが、これは薬の内服では治りません」と言う近藤医師に話を聞きました。



日本脳神経外科学会専門医
日本脊髄外科学会認定医
京都大学非常勤講師
日本脳卒中学会専門医

三叉神経痛の症状

三叉神経は脳幹から出て大きく3本に分かれて額、頬、顎の周囲の知覚を支配する神経で、脳神経の中で最も太い神経です。その神経が加齢によって歪んできた血管、または腫瘍などで圧迫されることで激しい痛みが生じます。圧迫は徐々に進むため、最初は歯痛等と間違えます。圧迫が増すと顔を洗ったり、歯を磨く、食事をすると、話すと、ひいては冷たい風を受けただけでも激しい痛みを感じるようになります。血管の圧迫で起こるものは約90%、腫瘍によるものは約10%で、MRI検査でどれが原因なのかは分かれます。



三叉神経が動脈により強く圧迫されて屈曲している。

三叉神経痛の治療

- (1)薬物療法
テグレトールというてんかんにも使う薬が有効です。しかし、痛みが進むにつれて薬の量も増やさなければならず、副作用として薬疹(じんましん)や眠気、ふらふらしたり、ひいては肝機能低下や白血球減少をきたします。
- (2)ガンマナイフ治療
放射線で三叉神経を照射し、痛みを緩和する方法です。これは後述の神経減圧手術を行うことのできる人に適しており、その治療率は約60%、再発率は約30%です。ガンマナイフによる三叉神経痛治療は2015年より保険適応になっています。
- (3)神経減圧手術
神経を圧迫している血管を神経から遊離させる、あるいは腫瘍をとる手術です。全身麻酔のもとで、耳の後方の頭蓋骨に10mm硬貨大の穴を開け、手術用の顕微鏡を用いて圧迫している血管を神経より慎重に遊離し、血管がふたたび神経を圧迫しないようにします。手術時間は全身麻酔を含めて大体4〜5時間位で、

約10日の入院が必要ですが、手術後すぐに痛みが取れ、治療率は約98%、術後5〜10年間の再発率は約3〜5%です。

顔面筋の歪みについて

顔全体に広く分布し、顔の筋肉を動かす働きをもつ顔面神経が、やはり血管で圧迫されると顔面の筋肉がぴくついて歪んできて、日常生活が不自由になります。これもMRIで診断できます。治療法は三叉神経痛と同じように血管を神経より離す顔面神経減圧術が根治療法ですが、顔面の筋肉を一時麻痺させるボツリヌス菌を顔面に注射する治療法もあります。

最後に

以前、三叉神経痛を歯痛と間違え、歯医者さんで奥歯を含む数本の健康な歯を抜かれ、やっこの思いで当院脳神経外科にたどり着いた患者様を診たことがあります。今はそのようなことはありませんが、痛みも顔の歪みも患者様自身で判断せずに、まずは専門医に受診してください。